

岩船地域における「こしいぶき」の栽培ごよみ

目標の収量構成と品質	
目標収量	540kg/10a
穂数	380本/m ²
1穂粒数	72粒
m ² 当り粒数	27,000粒
登熟歩合	90%
千粒重	22.0g
検査等級	全量1等
玄米タンパク質	6.2%

栽培のポイント

- (1) 健苗育成 : ①育苗日数は20日程度(加温20日、無加温25日)
②播種は4月15日以降、播種量は乾粒140g/箱
③苗は伸びにくいので、出芽長を1cm以上確保
- (2) 過剰生育防止 : ①1株苗数3~4本植えとし、茎質向上
②栽植密度は60株/3.3m²
③基肥窒素量は3~4kg/10a程度
④中干し・溝切りを徹底し、根の健全化と茎質向上
- (3) 後期栄養確保 : ①1回目の穂肥時期が幼穂形成期であるため、幼穂確認と遅れない穂肥
②出穂前後25日間は飽水管理とし、田面を乾かさず地力窒素の発現を促進
③落水は出穂30日以降とし、登熟向上
※穂肥の適期散布が困難な場合、基肥一発肥料を活用下さい。
- (4) 病害虫防除 : ①いもち病の箱処理剤使用
②いもち病とカメムシ類の同時防除
③紋枯病に弱いので発生量に応じた適期防除
- (5) 胴割れ発生防止 : ①刈り遅れしない適期収穫
②刈取水分に応じて乾燥温度を調節
- (6) 土づくり : ①稲わらの秋すき込み
②土づくり肥料や堆肥等有機物の施用

基本は「適正生育量の確保」と「登熟の良い稲づくり」

